

要請番号 (JL04518A30)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	G182 小学校教育		個別	新規	2年	・ 2018/3 ・ 2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育・文化・科学・スポーツ省

2) 配属機関名（日本語）

オユニーイレードゥイ統合学校

3) 任地（ダルハンオール県ダルハン） JICA事務所の所在地（ウランバートル）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（鉄道で約7.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

1972年設立の12年制(小・中・高校一貫教育)を実施している2部制の学校。3887名の小・中・高校生、155名の教師、教師以外の職員が46名在籍している。年間予算は約1億5千万円。2000年から2011年まで、JICAボランティア8名(日本語教師5名、PCインストラクター、家政、技術科教師)、KOICA、米国ピースコーボランティアの受入実績あり。その他、外国からの機材供与あり。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国では従来の暗記中心の指導法から子どもの発想や思考を促す「子どもの発達を支援する指導法」への転換が行われていており、子どもを中心とする指導法の普及や授業研究への協力等、現場の教師への支援、また日本の授業方法の紹介などが求められている。同校では、子どもの自由な発想、創意工夫を促す教科として、図工の授業を重視しているが、同市内で過去に活動した小学校教育JV(青年海外協力隊)が行った、身近な素材を利用した教材作成や、子どもの創意工夫を促す授業の評判が伝わり、JVが要請された。日本の教育現場で経験を積んだ教員を受入れ、日本の指導法の良い部分を取り入れ、教育の質の向上をめざすことが期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 同僚教員とのチームティーチングにより、児童に対して図工の授業を担当する。
2. 同校で実施される授業研究に協力し、教師に対し子供中心の授業方法について紹介する。
3. 身近な素材を利用した授業の進め方について助言する。
4. 授業やクラブ活動において、折り紙を紹介する。

※担当する学年や授業時間数は赴任後、配属先とJV間で話し合い決定する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教員執務室、パソコン、机、椅子等

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長(女性、50代)

小学校教務主任(女性、50代)

小学校教員52名(男性2名、他女性、実務経験1-30年、20-50代)

小学校児童 2090名

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許/資格等]：（小学校教諭）
（中学校又は高等学校教諭（美術））

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（-30～30°C位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

【類似職種】